

臨床検査技師養成所指導ガイドライン 見直し案
(第1回改善検討会で検討した内容に限る)

新(事務局提案)	旧(現行)
臨床検査技師養成所指導ガイドライン	臨床検査技師養成所指導ガイドライン
1～4 (略)	1～4 (略)
5 授業に関する事項	5 授業に関する事項
(1)～(2) (略)	(1)～(2) (略)
(3) 単位の計算方法については、一単位の授業科目を四五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、一単位の授業時間数は、講義及び演習については一五時間から三〇時間、実験、実習及び実技については三〇時間から四五時間の範囲で定めること。 なお、時間数は実際に講義、実習等が行われる時間をもって計算すること。	(3) 単位の計算方法については、一単位の授業科目を四五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、一単位の授業時間数は、講義及び演習については一五時間から三〇時間、実験、実習及び実技については三〇時間から四五時間の範囲で定めること。 なお、時間数は実際に講義、実習等が行われる時間をもって計算すること。
(4) <u>臨地実習については、実習時間の三分の二以上は医療機関において行うこと。</u>	(4) <u>臨地実習については、一単位を四五時間の実習をもって計算することとし、実習時間の三分の二以上は医療機関において行うこと。</u>
(5)～(6) (略)	(5)～(6) (略)
6～9 (略)	6～9 (略)

別表 1

教育内容と教育目標

	教育内容	単位数	教育目標
基礎分野	科学的思考の基盤	14	科学的・論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培う。国際化及び情報化社会に幅広く対応できる能力を養う。
	人間と生活・社会の理解		<u>被検者との良好な人間関係を構築するため必要なコミュニケーション能力を養う。</u> 生命倫理、人の尊厳を幅広く理解する。 <u>臨床検査の対象者の人権尊重とQOL向上さらに地域社会の活性化に寄与できる人材を育成する。</u>
専門基礎分野	人体の構造と機能	8	人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を習得するための基礎能力を養う。 また、 <u>採血、検体採取及び生理学的検査に対応するために、解剖学、薬理学、栄養学などの観点から、系統立てて理解する。</u>
	<u>臨床検査の基礎とその疾病との関連</u>	5	<u>高度化する医療ニーズに対応した検査情報の提供を実践するため、臨床検査の基礎となる知識と技術及び臨床栄</u>

別表 1

教育内容と教育目標

	教育内容	単位数	教育目標
基礎分野	科学的思考の基盤	14	科学的・論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培う。 生命倫理、人の尊厳を幅広く理解する。国際化及び情報化社会に対応できる能力を養う。
	人間と生活		
専門基礎分野	人体の構造と機能	8	人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を習得するための基礎能力を養う。 また、 <u>微生物学的検査、味覚検査、嗅覚検査に対応して、解剖及び薬理について、系統立てて理解する。</u>
	<u>医学検査の基礎とその疾病との関連</u>	5	<u>医学・医療における検査の基礎を学習し、疾病の成因を系統的に把握、理解する。</u>

			<p><u>養、病態薬理、認知症の検査等の基礎を学習し、救急や病棟、在宅など様々な現場で行われる臨床検査を理解するとともに、疾病の成因を系統的に把握、理解する。</u></p>				
	保健医療福祉と臨床検査	5	<p><u>保健・医療・福祉の制度を学び、臨床検査技師として、予防医学、在宅医療、地域包括ケアシステムや多職種連携について学習し、疫学的分析法の理論と技術及び臨床検査との関連について理解するとともに、医療チームの一員としての自覚を養う。</u></p>	保健医療福祉と医学検査	4	<p><u>保健・医療・福祉の制度を理解し、予防医学と検査の関連並びに疫学的分析法の理論と技術を学び、医療チームの一員としての自覚を養う。</u></p>	
	医療工学及び医療情報	4	<p><u>医療分野における工学的手法の基礎と概要及び安性全対策を理解・実践できる能力を養うとともに、医療情報科学の理論と実際を習得する。</u></p>	医療工学及び情報科学	4	<p><u>医療分野における工学的手法の基礎と概要及び安全性対策を理解・実践できる能力を養うとともに、情報科学の理論と実際を習得する。</u></p>	
専門分野	臨床病態学	6	<p><u>各種疾患の病態を体系的に学び、疾患と臨床検査との関わりについて理解し、各種検査データから、患者の病態を把握、評価することにより、適切な検査データを提供することにより医療チームの一員として臨床に対して支援する能力を養う。</u></p>	専門分野	臨床病態学	6	<p><u>各種疾患の病態を体系的に学び、疾患と医学検査との関わりについて理解・評価し、臨床に対して支援する能力を養う。</u></p>

血液学的検査	4	<u>身体の構造、特に疾病時の臓器・組織・細胞等の形態学的検査及び遺伝子・染色体検査について、臨床血液検査学の観点からの知識と技術を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>	形態検査学	9	<u>身体の構造、特に疾病時の臓器・組織・細胞等の形態学的検査についての知識と技術を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>
病理学的検査	5	<u>身体の構造、特に疾病時の臓器・組織・細胞等の形態学的検査及び遺伝子・染色体検査について、臨床組織細胞検査学の観点からの知識と技術を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>	生物化学分析検査学	11	<u>各種生体試料に含まれる成分について、遺伝子解析等を含む生物化学的分析の理論と実際を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>
尿・糞便等一般検査	2	<u>身体の構造、特に疾病時の臓器・組織・細胞等の形態学的検査及び寄生虫学とその検査について学び、各種生体試料について、臨床一般検査学の観点からの生物化学的分析の理論と実際を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>			
生化学的検査・免疫学的検査	6	<u>各種生体試料に含まれる成分について、臨床化学・免疫検査学の観点から生物化学的分析の理論と実際を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>			

<u>遺伝子関連・染色体検査</u>	<u>2</u>	<u>遺伝子、染色体、ゲノムの概念と基礎知識を学び、各種生体試料に含まれる成分について、遺伝子・染色体検査学の観点から各種分析法の理論と実際を習得し、結果の解析と評価について学習する。</u>			
<u>輸血・移植検査</u>	<u>4</u>	<u>病因・生体防御機能のひとつである免疫の仕組みを理解し、輸血、移植、遺伝子・染色体に関する検査の理論と実際を習得し、結果の意義及び評価について学習する。</u>	<u>病因・生体防御検査学</u>	<u>10</u>	<u>病因・生体防御の仕組みを理解し、感染・免疫・遺伝子・輸血・移植に関する検査の理論と実際を習得し、結果の意義及び評価について学習する。</u>
<u>微生物学的検査</u>	<u>6</u>	<u>微生物の病原性と感染の仕組みを理解し、病原性と遺伝子、感染症治療薬に関する検査の理論と実際を習得し、結果の意義及び評価について学習する。</u>			
<u>生理学的検査</u>	<u>10</u>	<u>人体からの生体機能情報を収集するための理論と手技及び患者接遇について習得し、結果の解析と評価について学習する。また、外来、手術室など医療現場における多様なニーズに対応できる技術を習得する。検査時の急変の対応についても学ぶ。</u>	<u>生理機能検査学</u>	<u>9</u>	<u>生体からの生理機能情報を収集するための理論と実際について習得し、結果の解析と評価について学習する。また、検査時の急変の対応についても学ぶ。</u>
<u>臨床検査総合管理</u>	<u>6</u>	<u>医療機関等における臨床検</u>	<u>検査総合管理学</u>	<u>7</u>	<u>医療機関等における医学検</u>

		<p><u>査の意義を理解し、臨床検査の精度管理・品質保証及び人材・業務・機器・情報・運営・安全に関する管理法を習得するとともに、職業倫理を高める。認証制度の意義と重要性を理解する。</u></p>			<p><u>査の意義を理解し、総合的精度管理及び機器・情報・運営・安全に関する管理法を習得するとともに、職業倫理を高める。</u></p>
医療安全管理	2	<p>臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、<u>感染管理及び医療安全と患者接遇に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。</u></p> <p>採血・検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。<u>医療事故等発生の要因分析とその対策について学ぶ。</u></p>	医療安全管理学	1	<p>臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、<u>感染管理及び医療安全に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。</u></p> <p>検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。</p>
臨地実習	1 2	<p>臨床検査技師としての基本的な実践技術及び施設における検査部門の役割を理解し、<u>患者との適切な対応を学ぶ。</u></p> <p>また、<u>臨床現場（救急、病棟、在宅、等）での役割と業務や、施設内のチーム（栄養サポートチーム、糖尿病療養指導チーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、等）の役割と実施内容を理解する</u></p>	臨地実習	7	<p>臨床検査技師としての基本的な実践技術及び施設における検査部門の<u>運営に関する知識を習得し、被験者との適切な対応を学ぶ。</u>また、<u>医療チームの一員としての責任と自覚を養う。</u></p>

			とともに、医療チームの一員としての責任と自覚を養い、適切な接遇マナーを身につける。また、予防医学における臨床検査の重要性及び、衛生検査所の役割と業務の理解を深める。
	合計	102	

別表2 教育上必要な機械器具、標本及び模型 (略)

	合計	95	

別表2 教育上必要な機械器具、標本及び模型 (略)